



この土地でできる  
最高の逸品を

青木 一洋さん (十里町)  
今荘ぶどう園 栽培人

撮影場所・今荘ぶどう園

ぶどう園に一步足を踏み入れると、ほんのりと甘い果実の香りが漂ってきます。見渡す限りのぶどう畑の中で、もくもくと作業をする若き「栽培人」がいます。

青木一洋さん37歳、この道18年。「ぶどうについて語り出したら止まらない！」周りの人がみんな口をそろえてそう言います。

高校生時は普通科だった青木さん。ある日、農業科の友達を待っていると、先生に同科の生徒と勘違いされ、実習に連れ込まれたことがきっかけで、農業に興味を持ち、卒業後は果樹栽培について一から学びました。

青木さんの名が業界で知れ渡るきっかけとなったのが「Shindo Funi Cuvee

AOKI2012」という赤ワイン。持ち込んだ渾身の「ベリーA」がワイナリーの醸造人に高く評価され「身土不二」の精神を託され出来あがったのがこのワインです。この年以降名前が入ったブランドワインを出し、今では多くの栽培人から相談を受けるほど。

また、毎年栽培人らがしのぎを削るぶどうの品評会でも賞をとるなど、家にはいくつもの賞状が並ぶ青木さん。しかし、それだけでは満足しないのだとか。「自分は目標を絞り込むことはせず、こだわらないことにこだわっています。必要に応じて様々な方法を駆使するのがポリシーです。毎年いいものを作り、いつでも訪れる人に満足してもらえるものを出したい。ワイン用のもの

のだと、ワイナリーの要望に応えたい。ただそれだけの思いで試行錯誤しています」と語ります。

「まずは今までからこの地で生き続けているブドウを守っていききたい。その上で、ワイン用の品種を増やし、育てたことのない新しい品種にも挑戦し、ここの環境に合う品種を見極めブランド化したい」と、青木さんのぶどうに向き合う日々はこれからも続きます。

いつも前向きな情熱家、それでいて親しみやすい人柄が、つくられたぶどう一粒ひと粒からにじみ出て、今日も食べた人を虜にします。

# Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報室（☎65-6504）まで申込みください。



大原 羽功ちゃん (平成25年9月生まれ)  
(神照町)

毎日元気いっぱいのおわっくん☆いっぱい食べて、いっぱい遊んで、いっぱい寝て大きくなってね♪♪



本田 怜生ちゃん (平成24年9月生まれ)  
(三田町)

2人のお兄ちゃんと遊ぶのが大好きな怜生くん、これからも元気いっぱいです♡子育てつねね♡

まちの人口	平成26年8月1日現在	人口 122,044人	男 59,646人	女 62,398人	世帯数 44,501世帯
	平成26年7月中の異動	転入 216人	転出 268人	出生 97人	死亡 101人 婚姻 42件